

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
安定就労率（月13 日以上就労者数） 【技能講習受講後3 か月の内2ヶ月】	%	61.0	50.3

未達成の要因と分析	<p>コロナ禍により、建設工事も延期や停止といった事態となり、日雇労働の求人は、前年比3割減の状況が続いている。受講修了者からの聞き取りによると、感染者数の増加等の影響を受けやすく、月々の就労日数は極めて不安定な状況であるとの報告が多く寄せられている。職種転換を希望する受講者では、コロナ禍によりとりわけ夏場以降、就労困難者が清掃等の分野に流入し、就職活動は厳しさを増している状況が続いている。また、携帯電話を所持しない者にとっては、採用に際して不利になる影響が高まったため、安定的雇用への誘導が難しくなっている。</p>
-----------	---

今後の改善方策	<p>引き続きコロナ禍の影響が懸念される。建設関係求人はR2年度以上に減少しており、失業者が増えることも懸念される状態である。大阪万博のインフラ整備工事の本格化に伴う労働市場の改善が期待される。R3年度は、建設業の動向を見つつ、コロナ禍でも需要のある運搬・梱包業などへの誘導も視野に入れ、安定就労に向けた支援を今まで以上に強化していく。</p>
---------	--

〔2〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
職員研修の開催	回	22	18

未達成の要因と分析	<p>緊急事態宣言により他機関主催の様々な研修が中止となった。再開後も、コロナウイルス感染防止のため参加人数を大幅に減少させており、受講申し込みしても抽選等により受講できなかった研修が多くあった。特に相談・スキルアップ研修については、5回計画していたが、すべて中止または抽選により受講がかなわなかった。</p>
-----------	---

今後の改善方策	<p>令和3年度は、新中期運営方針(令和3～7年度)において、生活が不安定になった労働者に対し、技能資格取得支援やキャリアカウンセリング、就労後サポートを強化するため、職員の専門的知識力や支援力を一層向上させる必要があり、次のステップとして、毎年度2人の専門的資格の取得を目指す。資格の中には、専門性が高く取得に複数年かかる資格もあるため、単年度取得者数ではなく、目標は累計数とする。</p>
---------	--